

「専門資料の種類(1)：総論」

★ 本日のねらい：下記ビデオを鑑賞し、「研究活動と資料」とのつながりについて復習する。
あわせて、「二次資料」の活用法についての基礎を学ぶ。

◆ 本日、鑑賞するビデオ

新・看護と図書館 下巻「看護研究と文献活用」(30分)

(看護図書館協議会(監修), ポルケ(製作), 紀伊國屋書店(発売) 2001)

★ ビデオでは看護学における研究(卒業研究)を扱うが、ここで示された「研究活動と資料とのつながり」は、どのレベルでの研究(卒業論文や修士・博士論文のための研究, およびその後の研究)にも当てはまるし、またどの分野での研究にも当てはまる。

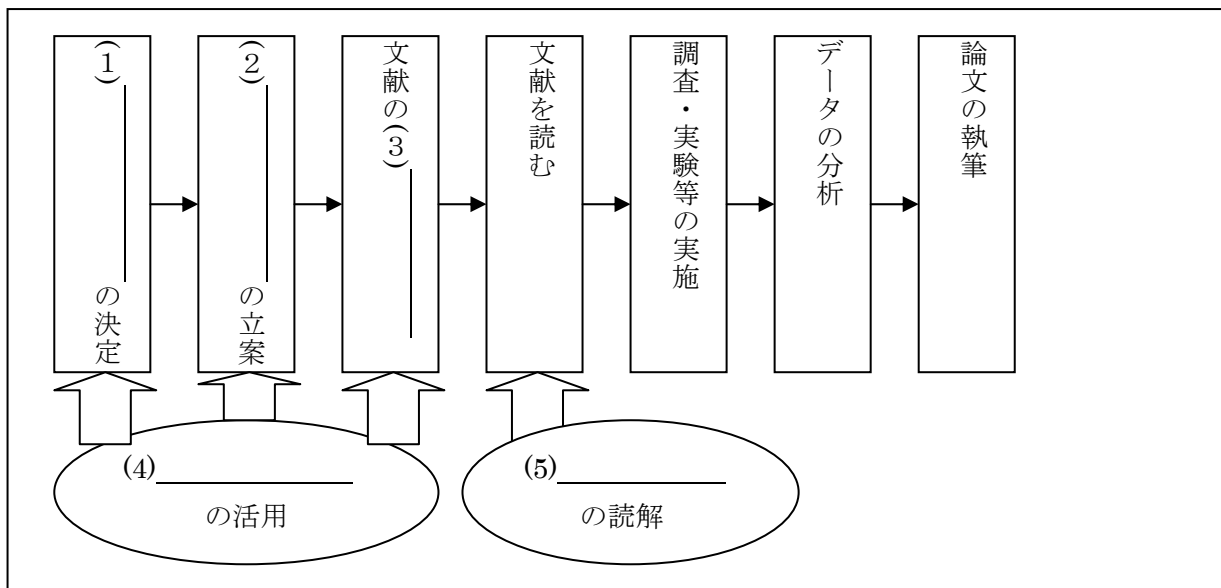
【鑑賞のポイント<1>】 ビデオ中で図示されることなどを以下に記す。

・看護研究における研究の種類

1. 事例研究：症例をはじめとする個々の事例を記述し分析する研究。(看護学, 医学, 臨床心理学などに特有。「研究対象」となる人のプライバシーに配慮する必要がある)
2. 文献研究(=読解)：テーマに関する文献を網羅的に取り上げ, 歴史的・理論的に考察する研究。
3. 調査研究：アンケートや聞き取りによってデータを収集し, 実態を明らかにする研究。
4. 実験研究：現象の因果関係を仮説に基づき検証する研究。

→ これらのすべてにおいて, 「文献活用」が欠かせない。

・研究のステップ



- 文献を「主体的」に読む（「鵜呑み」にしない）ためのポイント
 - 研究の目的は何か
 - 研究目的にかなった研究対象を選択しているか
 - データはどのように収集され、その収集方法は目的に対して妥当か
 - 得られたデータに対する分析の方法は妥当か
 - どのような結果が明らかになったのか
 - 結果から導かれた考察になっているか
 - 考察の理論にはどのようなものが用いられているか
 - 目的と結果と考察は論理的に一貫しているか
 - この研究者は今後どのような研究をする必要があると言っているか
 - 倫理的配慮はなされているか

- 論文の構成要素
 - 緒言/はじめに (introduction)
 - 方法 (methods)
 - 結果 (results)
 - 考察 (discussion)
 - 謝辞 (acknowledgements)
 - 引用文献・参考文献 (references)

- 論文執筆上の留意点
 - 用語の統一，明快な表現，客観的な記述，論理的な展開，簡潔な（分かりやすい）図表

- 「引用文献・参考文献」のリストとして記述すべき項目
(具体的にはそれぞれの授業の教官，卒論の指導教官の指示に従うこと)
 - 雑誌論文の場合
 - 著者 論文の表題 雑誌名 発行年 巻号 ページ
 - 図書の場合
 - 著者 書名 版次（「第2版」「改訂版」など。初版の場合は省略） 出版社 出版年
 - インターネットのウェブサイトの場合
 - 発信者 ホームページ名 引用日 URL

【鑑賞のポイント<2>】 各自チェックのこと。鑑賞後に再確認する。

1. 「文献活用」の意義は何か。
2. 「テーマは決まったが、そこからどうすればいいか分からない」という学生に対し、指導教官はどのようにアドバイスしているか。
3. 「二次資料」の役割は何か。
4. 研究計画を立てる前に、どのような作業が必要だと言われているか。
5. 論文などの発表から、二次資料に採録されるまでの時間差は、何と呼ばれているか。
6. 引用文献・参考文献リストを作成する際には、（記載すべき項目とは別に）どのような点に注意すべきか。
7. 「看護研究に必要な3つの力」を挙げなさい。
（実際には、看護研究に限らず、どのような研究にも当てはまる）

◆ ビデオで紹介された二次資料の現状

*看護学関連の専門的な二次資料の中で、特に覚えておいて欲しいもの (詳しくは次回で)

(6) _____ (通称「医中誌」)

- ・日本における医学・歯学・薬学・看護学関連の代表的な抄録誌。
- ・現在は書籍版 (抄録なし、書誌データのみ) と Web データベースがある。CD-ROM は 2006 年 3 月限りで作成終了。

Web データベースは、東洋大では朝霞・板倉で利用可。

有料の個人利用に特化した「医中誌パーソナル Web」もあり。

収録時期を限定した「無料体験版」も利用可能。 <http://www.jamas.gr.jp/>

(7) _____ <http://www.ncbi.nlm.nih.gov/entrez/>

・米国の国立医学図書館 (National Library of Medicine) が作成・管理するデータベース「MEDLINE」のインターネット版で、無料。書誌データに加え、原文も多く閲覧できる。

(なぜ原文も閲覧できるか?それは、米国政府の支援があるから)

- ・このほか、「JDream II」も、医学、看護学を含めた日本での「理系」のデータベースとして重要。「JDream II」は、白山含め東洋大の全キャンパスからアクセス可。

*総合目録

・総合目録とは：特定の図書・雑誌などの資料が、どの図書館に所蔵されているか、を調べる目録。特に、外部の図書館から資料を取り寄せたり、(8) _____ をもらって外部の図書館に入館する場合の前提として、総合目録を活用することになる。

- ・江戸時代までの古典籍に関する有名な総合目録として、(9) _____ がある。

・総合目録データベース「NACSIS Webcat」 <http://webcat.nii.ac.jp>

(NACSIS とは、国立情報学研究所の前身である「学術情報センター」の英語での通称)

日本国内の大学図書館の所蔵データを示す (大規模な公共図書館 (補足：ごくわずか。Webcat でも WebcatPlus でも同様) の所蔵データもあり)。無料。

現在は、操作方法などに工夫を凝らした「WebcatPlus」も運用されている。無料。

<http://webcatplus.nii.ac.jp>

◆ 一次資料の活用時の注意事項：図書と雑誌の基本的な違い

*図書：評価の定まった知識を系統的に載せている。最新の情報を得るには適さない場合が多い。

*雑誌：最新の知見や研究成果が掲載される。

専門的・個別的で、系統だった知識を得るには適さない場合が多い。

研究途上のものが載っている場合もある (特にレター誌)。

◆ 二次資料の活用時にチェックすべき事項

(10) _____: 書籍や二次資料の最初に, その編集目的・方針・使い方などを簡条書きで記した部分。
(「使用の手引」などの名称も用いられる)

(11) _____, (12) _____ もあわせて確認のこと。

・二次資料のデータベースについては「利用案内」などの項目を参照すること。

↓

主題 (中心的なもの, 関連するもの, 時代・地域区分), 収録量 (項目数や収録点数), 収録時期,
「新メディア」の扱い (CD-ROM, ウェブサイト, DVD など) などをチェックする。

・データベースを検索する場合には, 期間はどこまでさかのぼるかを確認すること。

◆ その他, 「調べもの」(および, 研究の出発点) で心がけるべきこと

* 当該分野の「概要」を理解した上で, 専門的な文献 (学術論文) に当たる。

例: 教科書や新書などを手始めに一読する。そこに記載されている「参考文献」のリストから文献を探すのもよい。

* 広い範囲の情報を集めた二次資料から調べ始め, 個々の分野に限定した二次資料へと進む。

例: 百科事典や大型の国語辞典, 現代用語の辞典などから調べ始める。その後, 専門分野の事典に進む。

【次回予告】 理系 (特に医学系) の情報源を解説する。